



副作用	主な自覚症状	免疫チンキ剤モノクローナル阻害薬 副作用対応連携シート			
		検査項目	モニタリングの目安	専門医へのコンサルトのタイミング	
間質性肺炎	発熱、空咳、息苦しい、息切れ	胸部X線	○ 投与時 ○ 投与開始時	左記の自覚症状発現の場合、左記検査項目の異常が認められた場合には、直ちに「相談」してください。	
		胸部CT	○ 疑い時		
		KL-6、SP-D	○ 2か月毎に2回		
内分泌障害	甲狀腺機能低下症：身体がだるい、体重増加、徐脈、便秘、食欲低下など 甲狀腺機能亢進症：汗をかきやすい、体重が減る、甲狀腺のはれ、胸がドキドキする、手の震え、不眠、発熱、下痢、振戦、食欲低下 副腎機能不全：身体がだるい、意識がうすれる、考えがまとまらない、嘔吐、むくみやすくなる、食欲不振、低血圧、脱力感 副甲狀腺機能低下症：手足の筋肉の痙攣、手足口の周りにほてり	TSH・FT3・FT4	○ 月1回	【甲狀腺】 症状出現（倦怠感や動悸など）、TSH・FT3・FT4に異常が認められた際、TSHレセプター抗体、抗チロトロピン抗体、抗TPO抗体を1回測定し、自己抗体陽性で症状発現時はコンサルト 【副腎】 ACTH・コルチゾールを測定した際、コルチゾール低値の場合にコンサルト	
		抗チロトロピン抗体 抗TPO抗体 TSHレセプター抗体 IPTH	○ 疑い時 ○ 疑い時		
		ACTH コルチゾール	○ 月1回		
		排便回数 腹部CT 大腸内視鏡検査	○ 投与時 ○ 疑い時		
		CRK	○ 投与時		
大腸炎 重度の下痢	下痢（軟便）もしくは通夜おむつ頻回の便通、血便もしくは黒タール便で粘着質の便、重度の腹部痛もしくは圧痛	排便回数 腹部CT 大腸内視鏡検査	○ 投与時 ○ 疑い時	Grade2以上の下痢、排便回数の増加が認められた場合（ヘースラインと比べ4～6回/日以上の排便回数増加） 腹痛・下血・便失禁・発熱に特に注意	
重症筋無力症 筋炎	重症筋無力症：上まぶたが下がる、物がたぶつて見える、飲み込みにくい、しゃべりにくい、呼吸困難 筋炎：身体に力が入らない、発熱、飲み込みにくい、息苦しい、発疹、筋肉の痛み	ACHR抗体	-	疑い時	目下がたぶつてくる（眼瞼下垂） 飲み込みにくい（嚥下障害） 症状発現時 あるいは、CRK1000IU/L以上の場合にコンサルト
1型糖尿病	糖尿病：身体がだるい、体重減少、のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増える 糖尿病性ケトアシドーシス：意識の低下、悪心、嘔吐、腹痛	HbA1c グリコ化ヘモグロビン 血糖 検尿（尿ケトン体） Cペプチド	○ 月1回 ○ 疑い時 ○ 投与時 ○ 疑い時	月1回 疑い時 投与時 疑い時	血糖値が、急激に上昇した場合にコンサルト
皮膚障害	発疹、かゆみ	AST ALT γ-GTP ALP T-Bil D-Bil LDH HBs抗体・HBc抗体 HCV抗体	○ 投与時	○ 投与時	Grade2以上の皮膚障害
肝障害	倦怠感、黄疸、嘔吐・嘔気、食欲不振、そう痒感	AST ALT γ-GTP ALP T-Bil D-Bil LDH HBs抗体・HBc抗体 HCV抗体	○ 投与時	○ 投与時	左記の自覚症状の発現、又はGrade2以上の肝機能障害が認められた場合にコンサルト
心血管障害	心不全、心筋炎、心房細動、深部静脈血栓	PT APTT コアグリンーション 心筋トロポニンT NTproBNP Dダイマー FDP 心エコー 心電図	○ 疑い時	○ 疑い時	左記の自覚症状の発現、又は検査値の異常時にコンサルト
眼障害	充血、霧視、羞明、眼痛	Na K Cl Ca P TP ALB UA AMY BUN Cr 血球算定 (CBC) バイカルサイン	○ 投与時	○ 投与時	左記の自覚症状が発現した場合にコンサルト
その他					

※検査オーダーは検査センター、統合センターを作成していますので、こちらより使用してください

死亡例が報告されています。早めに専門医へのコンサルトをお願いします